

月間目標

- 4月 環境整備
- 5月 安全管理
- 6月 健康管理



発行所 陸上自衛隊岩見沢駐屯地
 O B 会
 岩見沢市日の出1-3
 印刷所 北海道立福祉村
 空知郡栗沢町字最上350番地
 Tel(0126) 45-2721

北部方面総監 陸将・井上年弘 岩見沢駐屯地を初度視察

岩見沢駐屯地（司令久留島一佐）は、四月十五日、北部方面総監井上陸将の初度視察の榮に欲した。

十時三十分、折からの雪解けに水びたしのグラウンドにヘリコプターから降り立たれた井上総監は、第三施設団長、駐屯地司令及び業務隊長の出迎えるなか、川原三尉の指揮する儀仗隊の榮譽礼を受けられた後、駐屯地司令室での幹部挨拶、状況報告等により、二時間におたり岩見沢駐屯地の現

況について親しく視察された。

この間、表敬訪問をされた空知支庁長、岩見沢市長、岩見沢協力会隊区連合会長と会食され、また、岩見沢駐屯地名物「日の出焼」の絵皿に筆をとられ、「武」「日々は挑戦」といかにも武人らしい見事な筆跡を残された。なお、井上総監の初度視察は、再三計画されながら、のびのびとなつていたものが、この度、ようやく実現したものである。

第三施設団長 一等陸佐・岡崎 悟 駐屯地を初度視察



第十二施設群は、

四月二日第三施設団長（二等陸佐岡崎悟）の初度視察の榮に欲した。

所定の時刻に着された第三施設団長は、第十二施設群長（一等陸佐久留島昭彦）の状況報告（隊務、訓練全般）を受け、隊内を巡視された。



巡視を終えられた団長は全隊員に対し「常に精銳であれ」「我々はいつ如何なる時でも待ったなしの体勢にあらねばならない」「毎日の訓練を大事に、実戦的な状況で……」と訓辞された。

最後に「益々、精強な第十二施設群を築くよう」要望され、第十二施設群を後にされた。

第七代群長兼駐屯地司令着任

一等陸佐 久留島 昭彦



私は、この十年余り部隊勤務から離れていましたが、この度、第一線部隊長を命ぜられ、大変うれしく思っております。

想えば二十二年前、二等陸尉として旭川に赴任して以来、今回は二度目の北海道勤務であります。心新たに我が国防衛の第一線における私の職責を完遂し、諸官と共に第十二施設群の伝統を継承していきたいと考えています。

私は、部隊というものは有事に本当に役に立つ組織でなければならぬと考えています。

る隊員の一人一人にとつて安らぎの場であればなりません。

「訓練の目標はあくまで高く厳しく、しかしながら日常の生活は和やかな安らぎの場として隊員の活力源になつてゐる。」このような姿こそ、私は有事の際に真に役に立つ部隊の在るべき姿だと考えています。

時が移り人が変わり、また、部隊の練成のやり方は様々あるとしても、部隊にとつてこの究極の目標は変わらないはずであり、私は、一歩でも二歩でもこの目標に近付けるよう諸官と共に考え、努力し、実行していきたいと考えています。

〈略 歴〉

- 大阪出身、昭和十六年生
- 防衛大学校第八期（土木）
- 陸上幕僚監部防衛部防衛課、防衛班長から着任。
- 第三施設大隊（旭川）防衛大学校教官
- 第十二施設大隊（群馬）幹部学校教官・研究員、等を歴任。
- 趣味：バードウォッチング

群長離任の辞

山口地連部長への栄転



佐治 康原 1等陸尉

幸せであったと感ずる次第であります。

第二に「仕事に惚れよ」という点では、諸官一人一人が大変しつかりやうで頂き、私に対する三級賞詞は大変過分なことであり辞退したかったのですが、これはまさに諸官との協同作戦に他ならないと考える次第であります。

また、「三惚れの第三として「女房に惚れよ」というのがありますが、遠い地で三人の子供を教育し家庭を守ってくれた女房に対し、改めて感謝するものであります。

私は三月十六日付で自衛隊山口地方連絡部長を拝命し、ここから二千キロメートル離れた山口県に転任する事になりました。

一年八ヶ月という短い期間ではありましたが、公私ともに皆さんとお馴染みを頂き、私の三十年の自衛隊生活の中で最も印象深く、また変化のあった所でもあります。特に「惚」がこの岩見沢の地で出来たという事は、生涯忘れる事が出来ない証拠であります。

昔から「三惚れ」という言葉があり、私はこれを心掛けてきた訳であります。まず第一に「土地に惚れよ」という点ではここに階列中の皆様には特にご懸念にして頂き、美しい自然に恵まれ人情すこぶる厚い土地柄にあつて、多くの人々から非常に多くの事を学び、この地に勤務できた事を誠に

後任には陸上防衛の中核である陸上幕僚部防衛部防衛班長という頼つてもない人材が選ばれ、後事を託するに最高の人物であり、今まで寄せられました協力を引き続きお願いしたいと思います。

酷寒を克服し 協同訓練終了

第十二施設群は二月十三日、二月二十二日の間、孫別、名寄、北海道大演習場及び上富良野演習場を舞台に積雪地訓練の完成をめざして冬季野営訓練を実施し、スキー機動、爆破、雪中露営、交通作業等の練度向上を図った。

この間、二月十九日、二月二十二日の二夜三日にわたり、留萌に駐屯する精強第二十六普通科連隊との協同訓練の場をもつて第三五施設中隊（中隊長浜田一尉）の訓練検閲を実施した。課目は「攻撃に任ずる連隊戦闘団を支援する施設中隊の行動」で、第二十六戦闘団の戦力発揮のための機動路の開闢、障害処理、応急防衛等について、浜田中隊は幾多の困難を普通科と一体となつて克服し、戦闘団の攻撃を第一線から後方

い訳であります。諸官一人一人からよろしくお伝え頂きたいと願うものであります。

尚、かきわて本日特にご懸念あるいはご指導頂いた列席の皆様には高い所でありますが、厚くお礼を申し上げお別れの辞とします。



にわたり文字どおり全面的に支援して任務を完遂し、良好な成果を収めた。

除雪作業隊 ごくろうさまでした。
一部外除雪工事終了

第十二施設群は、十二月中旬から、岩見沢市（三二二）二施設中、名寄市（三三〇）一施設、北村（三三七）中地区において除雪工事を実施中であつたが、三月下旬多くの成果をあげ、無事任務を終了し、それぞれ感謝状を受領して元気に帰隊しました。

除雪隊の皆さん

ごくろうさまでした



必勝 団銃剣道戦技競技会

「燃えよ、一突き」12施群

4月24日

わが中隊

第三三五施中 一尉 濱田 健一郎



栄光の五中隊長として着任後、早二年の歳月が過ぎようとしている。

小隊長時代に在籍し小隊長曹等に種々指導を受け、貴重な体験が今日の中隊長職務を遂行できる基盤になっていると思っている。

さて、我が中隊は施設中隊の頭号中隊として、重要な地位、役割りを有し、隊員一人一人が任務の重要性を認識し実行しているのは素晴らしい。
諸先輩等の話を聞くと、昔一中当時は、団結強固で



精強、特に強者陸曹が多かったと聞いている。時代は変遷し現在は、陸士の質が良い中隊といわれ、昔からの伝統継承の優秀な陸曹等が人事異動、定年で中隊を去り、若手陸曹、九州出身

者が中心となり懸命に土台を支えている現状である。しかし、訓練戦技のモサは依然として現存し、若い隊員諸官が陸曹、幹部をめざす等目的意識を持ち、前向きに努力している姿は非常に頼もしく思う。
栄えある伝統を支えてきた諸先輩が一人つつ減り淋しい反面、次の世代が伝統継承し一歩づつ力強く歩み出している段階である。欲

「自白」

警務 二尉 松宮

春は桜、桜とくれば御存じ遠山金四郎「オウツこの桜吹雪に見覚えねえとは言わせねえぞ」と、片肌ぬぐ、今風に申せば金さん(裁判官・捜査官・証人)であるからこれ程確かな事は無い。そこで一同「へへッ恐れ入りやした」要するに桜吹雪

を言えば強い力で中隊を引張るけん引的存在の陸曹の出現を期待している。諸先輩達から種々受け継いだ陸曹の中から「俺が中隊を引張るんだ」という陸曹が出現した時に、真に精強三五施設中隊の誕生となるであろう。
今後、一人一人が力を結集し、訓練、戦技、服務に抜群な新生五中隊を乞う御期待!!

の証拠を見て自分の犯罪事実を認めるわけで、これを「自白」という。
ところでこの自白、金さんの時代は勿論、旧法時代には「証拠の玉様」と呼ばれ、自白さえあれば有罪の認定が出来ました。
しかし、戦後の新法では

「何人も、自己に不利益な唯一の証拠が、本人の自白である場合には有罪とされまたは刑罰を科せられない(憲38条3項)」と定められ、例えば警察などで「いま人を殺して来ました」と嘘の申し立てをしても殺人罪で有罪になる事はありません。
この事を知ってか知らずか某陸士長、自衛隊を辞める口実にと「三角関係の相手の男を殺した。これから女と自殺をする」と、電話で申し立てたから大変、警察など大勢動員し捜索の結果無事保護。くだんの陸士長、自分のした事が殺人罪にはならないものの、「虚構申告罪(軽犯1条16号)」という罪になると知ってガツクリ。「オウツべらほうめ、そうは問屋がおろさねえぞ。これにて一件落着」と金さんの声が聞こえて来そうな次第でありました。

20歳を迎えて

第314基地通信隊
技官 松田由佳

二十一年を生きて来たと言ふことに、まだ実感がわかない。子供のころに描いていた「はたち」のイメージと現実とはまったく違う、ということを知っただけで成人してから生活がどう変って行くのだろうと、他人事のように考えています。今までは、ただその時が



よければいいと言う考えで毎日をご過ごして来ました。

仕事をやるようになってからは、多少政治、経済など、社会で今、何がどうなっているか気にはしていましたが、特別関係がないと思ひ、無関心で過ごして来ました。
これからは、こういう面も真剣に勉強し、現在の仕事を大切に、良い人間関

係を保ち、二十年、三十年後に後悔しないように毎日を送って行きたいと考えています。
先輩の皆様、どうぞよろしくお願ひします。



保障から年金まで
あなたのコンサルタント
としてお役に立ちます

朝日生命
岩見沢営業所 ☎22-0207
担当 柳生 瑞子

皆様の福利厚生のために
クラブ・酒売店経営
物資の販売・引越あつせん
役員(KP)の受託

防衛弘済会
岩見沢事業所

お気軽にお電話下さい。
弁当、寿し、鍋物お届けいたします。



ランチタイムサービス
★午前10:30~午後2:00まで

* 宴会料理 *

●新年会・クラス会予約承っております。

味の式部

岩見沢市4条西2丁目 ☎23-1892

人事往来

行く人

●第十二施設群

- 三佐 古井 孝雄(南忠庭)
- 一尉 石井 春雄(札地病)
- " 大窪 學(真駒内)
- 二尉 枝木 友嗣(南忠庭)
- " 平野 寛忠(調学付)
- " 林田 敏美(南忠庭)
- 三尉 日比野忠史(防大付)
- " 佐々木洋一(名寄)
- 一曹 吉田 好夫(岩業)
- " 甲斐 八雄(岩業)
- 二曹 竹尾 悟(岩業)
- " 高橋 政男(口施設群)
- 三曹 佐藤 浩(岩業)
- " 鼻崎 義幸(南忠庭)
- 三曹 井本 哲吉(岩業)

来る人

●諸 隊

- 一曹 高野 範之(真駒内)
- 二曹 廣瀬 鉄夫(札帳)
- 士長 坪内 秀幸(丘珠)

●第十二施設群

- 一尉 十倉 亨
- 北忠庭 三二二器中隊長
- 幹候生 高木 茂
- 幹候 三三三五中隊
- 幹候生 齊藤 伸夫
- 幹候 三三七七中隊
- 准尉 原田 昌俊
- 岩業 本部中隊
- 曹長 皆川 貞廣
- 岩業 本部中隊
- 一曹 福江 博義
- 札地連 三二二器中隊
- 二曹 伴 輝昭
- 札地連 三二二器中隊
- 二曹 北山 幸一
- 岩業 三三三六中隊
- 二曹 坂本 成功
- 岩業 本部中隊

●業 務 隊

- 二佐 米本 建
- (函館二十八連)
- 業務隊長
- 二曹 川津 敏行(美幌)
- 事務官 清水 義和
- (丘珠業) 管理科長
- 事務官 三沢 弘
- (南忠庭) 岩業

★三級賞詞★

- 一佐 蛭原 康治(%) (職)
- 准尉 坂田 和幸(%) (職)
- 二曹 川堀 清隆(%) (車)
- 二曹 平川 八一(%) (車)

栄光をたたえ

事務官 山北 光彦

(別海) 岩業

技官 淡木 正明

(真駒内) 岩業

●諸 隊

- 一曹 佐藤 英也
- (真駒内) 岩業
- 二曹 由田 克敏
- (稚内) 基通

新規採用(四月一日付)

技官 長谷 淳二

(国鉄) 管理科

業務研修

小幡 正二

(国鉄精算事業団)

補給科



永い間御苦労

さまでした

●定年退官●

岩見沢駐屯地業務隊

二尉 田辺 民雄 (%)

〈就職先〉

北海石油ガスKK

第三一二施設群材中隊

曹長 佐藤 忠雄 (%)

継続療養中

第三三六施設中隊

曹長 青木 深 (%)

〈就職先〉

西川繊維株

第十二施設群本部中隊

曹長 荒生 英夫 (%)

〈就職先〉

岩見沢観光ホテル

岩見沢駐屯地業務隊

准尉 赤沢 建 (%)

〈就職先〉

ジョイベル奉安殿

岩見沢駐屯地業務隊

二尉 榎原金三郎 (%)

〈就職先〉

ささや酒店

第十二施設群本部中隊

准尉 山崎 弘 (%)

岩見沢駐屯地業務隊

事務官 池田伊佐男 (%)

岩見沢駐屯地業務隊

技官 高田 登 (%)



おめでとう

♥新婚さん♥

南城 勲・久美子 (%)

(早く子供の顔をみたい)

福本 良己・和菜 (%)

(ついにゴールしました)

村田 勝也・富士子 (%)

(毎日がたのしいです)

春日 文人・恵子 (%)

(アツアツの毎日です)



中国風パブスナック

里



岩見沢市3条西1丁目 23-2533 25-0631

宝 石 創業79年 貴金属
防衛庁共済組合岩見沢支部契約店

株太田時計眼鏡店

岩見沢市1条西4丁目
☎0126-223353・223354

国をまもる防衛庁職員のための

- ◎家族保障保険
- ◎ニューライフサイクル
- ◎終身保険やすらぎ

協栄生命

担当：田村純子、高橋ひさ子